

# 数学

## <全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

### 解答形式

①は空所補充形式、②、③は記述式。

### 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

### 出題の特徴や昨年との変更点

①は小問集合であり穴埋式であるが、他の入試であれば大問になっていてもおかしくない問題が出ることもある。受験テクニックを適用するのではなく、試行錯誤して状況を把握し、その場で考えるタイプの問題が多い。

### その他トピックス

2025年度入試は新・旧両課程の共通部分からの出題となり、新課程 数学Cはベクトルのみ範囲に含まれる。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
①	(1) 数と式	数学I	絶対値記号を含む不等式	易
	(2) 数列 整数	数学B 数学A	数列を用いて表された連立不等式を満たす整数を求め	難
	(3) 数列 対数関数	数学B 数学II	漸化式を解く 対数をとって変形する	標準
	(4) 微分法・積分法	数学II	2次関数と接線とで囲まれる図形の面積	標準
②	確率 三角関数	数学A 数学II	円に内接する四角形の面積の大きさが2番目と3番目のものについて面積の計算と確率の計算	やや難
③	ベクトル	数学B	ねじれ2直線上にある点を結んでできる三角形の面積の最小値	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

問題文を読み、意味を理解する。よくわからなければ、条件を箇条書きにまとめたり、具体的な数字を入れて実験したり、図を描いたりして、状況を把握する。結果を予想し、方針を組み立て、必要なら場合分けして、論理的に推論し、答を導く。それを、自分以外の人が読んでわかるように簡潔に（読める字で）記述する。こうした、当たり前だが地道な訓練を、授業の予習の際に積み上げていくことが必要である。大学入試でしか使われない技術や大学での高度な内容を学ぶよりも、じっくり考えることが必要な問題を解く経験を積んでおいた方が傾向に即している。自分の手で最後まで答案を書きあげることが習慣にし、時間配分の感覚を身につけよう。整数、数列、組み合わせ幾何などが頻出である。過去問を遡って手応えを確かめるとよい。